



2018年9月1日 秋号 No. 95
 三洋電機洋友会 洲本地区
 Tel. & Fax. : 0799 - 23 - 9702
<http://yoyu-sumoto.sakura.ne.jp/>
 Email : yoyu-smt@sumoto.gr.jp
 [発行責任者] 川 端 通

残暑お見舞い申し上げます。
 今夏は異常気象で気象観測以来、各地で猛暑で40℃を超える(危険な暑さ)地域が複数発生しました。また西日本を中心に短時間記録的豪雨と土砂による甚大な災害を出し平成最悪の豪雨災害となりました。年初より首都圏で大雪の記録等、異常気象は常態化しているように思います。

災害と言えば過去に、淡路島でも平成16年の台風23号により、洲本川を中心に氾濫・決壊等が発生し、多くの会員の家屋浸水の被災経験があります。私ごとですが、我が家も床上1mと家の中は泥水だらけとなり、西日本の災害の大変さ復興へのご苦労は、他人事では無く身に染みて感じております。今回の西日本大災害で思うことは、より安全な場所に早く避難する重要性を、皆さん再認識したのではないのでしょうか。今迄の避難の考えを見直す必要があると痛感しました。



【台風20号上陸前の先山 & 虹 (木下 達郎氏)】

I. 洋友会設立30周年記念事業!! 【報告：洋友会事務局】

1. 洋友会全体事業としては、全会員の皆様(4,200人余)に健康維持に役立つ『活動量計』を、4月度に贈呈しました。ご家族の皆様との健康管理の一助としてご活用ください。
2. 車椅子を特別養護老人ホーム 五色・サルビアホールへ、6月14日(大安)に3台寄贈(通常2台)しました。プルタブ・アルミ缶収集に、ご協力戴いた多くの皆さんに、心より感謝と御礼を申し上げます。尚、今後も『プルタブを集めて車椅子を贈ろう! 運動』を継続して、少しでも地域社会のお役に立つべく推進しますので、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



【車椅子寄贈歴】

2009年4月：三洋電機洋友会の『プルタブを集めて車椅子を贈ろう! 運動』に洲本地区も参画
 2010年8月：洲本地区単独で活動して、淡路島3市の特別養護老人ホーム対象への寄贈に変更

寄 贈 歴	地 区	特別養護老人ホーム名	台数	売却重量	プルタブ数	空き缶数
2013年3月	洲本市由良	由 良 荘	2台	442Kg	547千個	16千本
2015年3月	南あわじ市広田	緑 風 館	2台	398Kg	493千個	14千本
2016年5月	淡路市大町	千鳥会ゴールド	2台	457Kg	566千個	16千本
2018年6月	洲本市都志	五色・サルビアホール	3台	621Kg	692千個	26千本
合		計	9台	1,918Kg	2,298千個	72千本

- ① 車椅子の仕様：ミキ社製のメンテナンスフリーのノーパンクタイヤ (上段の掲載写真)
- ② プルタブ、空き缶の売却価格：変動相場制
3. 推進中の記念事業として、洋友会発足時からの下記の思い出事業を洲本地区HPに掲載準備中
 - ① 総会、忘年会の写真 (懐かしい写真の一例)→
 - ② 本部発行の会報誌「洋友」への投稿文、写真
 - ③ 一泊旅行、日帰り旅行、工場見学等の写真
 - ④ ボランティア活動の写真、新聞記事
 - ⑤ ようゆうカフェの写真



【1989/9/22 洋友会設立総会の会員と会社・労組代表】

Ⅱ. 地域社会ボランティア活動!! 【報告：吉井 壤さん】

南あわじ市山添地区は、洲本市の西側に隣接する旧緑町の東玄関口で、国道28号線が東西に走りその沿線は飲食店が多く「グルメ街道」と呼ばれ自動車関連企業や医院も多い。約280世帯の町内会(地区)で10隣保で構成、農家は数件で殆どが非農家で人口の6割が新規住民。アパートやマンションの住民は、地区入りせずに詳細は不明。山添子ども会50人が物語るように比較的若い世代の多い地区と言える。反面新旧住民同士の交流は少ない。それが故に、新規住民や若年層の地域活動への不参加などが加速し、地域自治体の弱体化を痛感する地区でもある。

南あわじ市社会福祉協議会の重要な事業の一つ、住民相互のつながりづくりを狙いとした身近な居場所“ふれあい・いきいきサロン”づくりがあり、市では現在60余りのサロンが開催されている。当地区で8年前からサロン活動「山添なかよし会」に関わり現在も継続し食事・茶話会、健康教室、寄せ植え教室、ゲーム大会、グラウンドゴルフ等開催で、毎月2回楽しく奮闘中・・・?!

今回は山添子供会に呼掛け夏休みを利用して、「山添夏まつり」をコラボ開催。山添自治会、老人クラブの皆さんにも楽しい新旧住民の世代間交流を願って参加協力を依頼した。ソーメン流し、綿菓子づくり、スーパーボールすくい、輪投げ、スイカ割り等を企画、子供会50人余りと住民スタッフ合わせて80名を超える多くの参加で“てんてこ舞い”の忙しいイベントとなった。次世代を担う子供たちと若い親達と地域住民が、交流し楽しく過ごすと共に地域のいろいろな課題を知るきっかけづくりになったと思う。



【ソーメン流し(左端:高橋氏)】



【スイカ割り】



【防 災 教 育】

南あわじ市社会福祉協議会の指導で、子どもたち中心に、南海トラフ巨大地震、異常気象による豪雨災害時の避難場所や、避難ルート住宅地図に書き込み「山添ハザードマップ」を作成して災害の実感体験するなど、楽しく減災・防災教育も行いました。

洋友会の高橋 稔氏に、会場づくりを始め、ソーメン流し等、多大な応援を頂き御礼を申し上げます。

Ⅱ. クラブ活動だより!!

(1)釣りクラブ 【報告：小西 直實さん】

7月10日(火)、回遊遅れのアジ好漁を今年こそはと期待してPM2時炬口港を出船。炬口沖にて投竿早々より、良型アジが釣れ全員が25匹以上の成果に大満足! 納竿間際になって、谷本クラブ部長が30cmのヒラメを釣り上げ、PM4時過ぎに納竿し帰港。釣頭は、谷本部長でした。

- ・参加者：佐々木氏、谷本氏、小西
- ・天 候：晴 天 ・潮回り：中 潮
- ・釣 果：ア ジ(20~30cm) 80匹
 ガシラ(15~20cm) 5匹
 子 鯛(15cm) 5匹
 ヒラメ(30cm) 1匹 メバル(15cm) 1匹
 ベ ラ(15cm) 1匹 フ グ(30cm) 1匹



【谷本 部長(前列)：30cmヒラメ】

(2)釣りクラブ 【報告：小西 直實さん】

8月1日(水)本年2回目のアジ釣りに、AM6時炬口港を出船。炬口沖にて投竿、潮が動かず食いが渋く苦戦・・・潮止りにて場所を洲本港沖の一文字近くに移動後も、アジが少々釣れた状態で、前回の好漁の再現ならない中で、出嶋さんが40cmのヒラメを釣り上げる。

船頭さんの指示通りに“30分程早く出船した方が良かった”と反省してAM9時30分帰港!

釣頭は、サビキ釣りと投げ釣りの二刀流で頑張った出嶋 重夫さんでした。(詳細は、次ページ)

- ・参 加：佐々木氏，出嶋氏，小西
- ・天 候：晴 天
- ・潮回り：中 潮
- ・釣 果：

アジ(20～30cm) 10匹
 キス(15～25cm) 3匹
 サバ(25～30cm) 4匹
 ヒラメ(15～40cm) 2匹



【小西氏：アジ，佐々木氏：サバ】



【出嶋氏：40cmヒラメ】

(3) ゴルフクラブ 【報告：古橋 利朗さん】

5月25日(金) 洲本GCにおいて、第103回ゴルフコンペを、21名がWP方式で競い右記の方が栄えある栄冠を獲得しました。おめでとうございます！

優 勝：高橋 稔 氏(G103 N73.0)
 準優勝：松下 敏信 氏(G105 N73.8)
 第3位：森下 壽訓 氏(G 97 N74.2)
 BG賞：野川 豊弘 氏(G83 O40 I43)

【高橋 稔さんの優勝コメント】

初めてゴールドマークでのプレーでしたが、スコアが良くなった訳でもなく、単に幸運に恵まれダブルペリア方式の大きなハンディーキャップが付いた、まさかの優勝でした。何回も大叩きをしましたが、投げやりにならずプレーしたことが良かったと思います。これからも、この優勝を忘れずに一打一打丁寧にプレーして行こうと思います。また当日は、絶好のゴルフ日和と、素晴らしい同伴メンバーに恵まれ、楽しくプレーが出来た事も、優勝の一因と感謝しています。ありがとうございました。



(4) ゴルフクラブ 【報告：古橋 利朗さん】

7月27日(金) グランディ鳴門ゴルフクラブ36での第104回ゴルフコンペ前に、新会員の 上田 正朗氏(在住：泉大津市)より入会の挨拶を頂きました。コンペは、19名がWP方式で競い下記の方が栄えある栄冠を獲得しました。おめでとうございます！

優 勝：風呂 徹 氏(G 87 N72.6)
 準優勝：高橋 稔 氏(G104 N72.8)
 第3位：野川 豊弘 氏(G 79 N73.0)
 BG賞：野川 豊弘 氏(G79 O37 I42)

【風呂 徹さんの優勝コメント】

猛暑の中、我慢比べのラウンドでした。同伴メンバー、及びダブルペリア方式に恵まれて優勝することができました。70歳まで元気にゴルフができることを目標に楽しみたいと思っています。



Ⅲ. リレー訪問記!!

【皿池 章秀さんです! (在住: 洲本市本町)】



Q1. 高取 節雄さんとの関係は!

- * 高取さんとプライベートは、焼鳥屋、居酒屋等をよく飲み歩く飲み仲間__
- * 仕事上では、事業計画や収支見込策定時に、人員計画や労務費・人件費の予算作成を依頼し、その内容について検討・調整するのが主な関係でした。

Q2. 仕事の中での思い出は?

- * 1970年入社し、2ヶ月後位に経理課に配属されました。当時洲本工場では軟式野球に力を入れており、野球部員は間接部門に多く配属されていたので、経理課にも多く在籍され県大会や全国大会時には、ごっそり応援に抜け勝ち進んで行くと上司まで行くこともあり、まさに開店休業状態になったのが思い出されます。
- * 2000年3月に、SEC(USA)の管理担当副社長として転勤を打診され余りにも突然だったので動揺し即答できず、家族や友人達に相談し悩みましたが、単身赴任を決心しました。
- * 赴任中に衝撃的事件発生。2001年9月11日のアメリカ同時多発テロ事件です。何時も通り朝早くテレビをつけると、煙を上げる世界貿易センタービルが映っていました。暫く見ていると旅客機が現れ旋回しビルに突っ込みました。アナウンサーの英語説明が [1971年5月 阿蘇山中岳火口] 判らず他のチャンネルも同じ様な映像だったので、事件かと思い日本の嫁への電話でテロと知り大急ぎで出社すると、不安そうにテレビを見ていた現地従業員を午前中に帰宅、そして出張者は飛行機に乗らず車で帰社するよう指示がされました。ハイジャックの飛行機が、西海岸に向かっているとの情報で緊張しましたが誤報と判り一安心したのを覚えています。
- * 2003年3月、コンプレッサ事業とソーラー事業が合わさった新事業本部の経理責任者として帰国しました。ソーラー事業部の月次決算は、旧所属の本部で継続予定でしたが、独自に新本部で作成することに方針変更され、しかも経理要員も新本部で確保するようにとのことで慌てました。ソーラー事業部内の経理経験者、製造現場の商業科出身者、他事業部、関係会社の経理経験者等から、要員を確保して何とか進めることができたのが思い出されます。



[1971年5月 阿蘇山中岳火口]

Q3. 退職後の過ごし方は? また夢は!

- * 実家の米屋を手伝いながら、町内会の役員も引受けて地域社会とのコミュニケーションを図っています。
- * 高校の同級生や元職場の仲間達と、飲み会や旅行を楽しんでいます。



Q4. 今後の予定は?

[前号の高取氏と柏原山頂で撮影のヘール・ボップ彗星]

- * 健康に留意して、75歳位までは現状の生活を続けたいと思っています。

～次回は、山木 勝さん を紹介して頂きました。(対談: 高橋, 出嶋, 木下, 古橋編集委員)～

★ 新会員 (9/1 入会): 吉岡 光博さん (三洋: 1977/4～2011/12) 在住: 徳島県小松島市

Ⅳ. 活動計画, 事務所開所日, 会員状況

[敬称略]

月 度 活 動	9/25 (火)	資料印刷	9/25 (火)	三 役 会	9/27 (木)	資料配布	9/27 (木)	会計報告				
事 務 所 当 番	9/13 (木)	吉 井 皿 池	9/20 (木)	阿 部 PC 部員	9/25 (火)	川端・山口幸 光永・青山	9/27 (木)	山 崎 相 田				

※ 2018年10月度より、事務所開所日は、毎週木曜日のみとなります! 但し、祭日は閉所日です!

資料印刷日: 月末木曜日 (年末のみ: 月末火曜日) 資料配布日: 月初木曜日 (年末のみ: 月末木曜日)

洲 本 地 区 会 員 人 数 (9月1日付)					本 年 度 会 員 入 退 会 人 数			洋 友 会	18年8月末	4,199名
会員数	洲本市	南あわじ市	淡路市	島 外	入 会	退 会	増 減		18年3月末	4,219名
143名	74名	24名	21名	24名	3名	0名	+ 3名		本年度増減	Δ 20名

① 事 務 所 開 所 日: 毎週木曜日 & 月末のみ同週にある火・木曜日 AM9時～11時迄

② 事 務 所 場 所: 三洋電機クラブハウス内の右奥の部屋 (お気楽にお立ち寄りください!)